

長野県史

民俗編

第四卷
北信地方

日々の生活

目次

緒序口絵

言葉

調査地の地域名と地名略称

調査地点図

調査集落の概観

第一編 社会生活

第一章 ムラの発生

第一節 ムラの発生	一
1 湖水の排水によってできたとするムラ	二
2 落人が作ったとするムラ	三
3 牧場によってできたとするムラ	三
4 門前にできたとするムラ	四
5 豪族が作ったとするムラ	四
6 移住によってできたとするムラ	五
7 街道筋にできたとするムラ	七
8 新田開発によってできたとするムラ	九

9 その他.....	1 同族の呼び名.....	2 共有物.....	毛
第二節 ムラに最初に住みついた家	二	二	三
1 呼び名.....	一	一	二
2 最初に住みついた戸数.....	二	二	三
3 その他.....	三	三	四
第二章 本家・分家	三	三	五
第一節 交際	四	四	六
1 呼び名.....	五	五	七
2 付き合っている期間.....	六	六	八
3 本家・分家の付き合い.....	七	七	九
第二節 分家慣行	三	三	十
1 分家ができる家.....	五	五	十一
2 分家をする者.....	六	六	十二
3 分家の条件.....	七	七	十三
4 分家に与えるもの.....	三	三	十四
第三章 同族	三	三	十五
第一節 同族	三	三	十六
第五章 ムラの構成	三	三	十七
1 権利の取得.....	三	三	十八
2 権利の喪失.....	三	三	十九
第二節 共有財産	三	三	二十
1 共有地	三	三	二十一
2 墓地・堂・庵	四	四	二十二
3 その他	五	五	二十三
第二節 共有財産に対する権利	三	三	二十四
1 権利の取得	三	三	二十五
2 権利の喪失	三	三	二十六
第四章 ムラの共有財産	三	三	二十七
第一節 共有財産	三	三	二十八

第一節 ムラの役員名	1 三役	2 その他	3 ムラの仕事を請負う人	2 仕事の内容	3 ムラの仕事を請負う人
	二	一	九〇	九二	九三
第二節 役員の選出	1 役員の選出方法	2 伍長・組長の選出	3 氏子総代の選出	1 出不足金	2 労力で負担する
	一	一	一	一	一
第三節 役員の任期	1 役員の任期	2 交替の時期	1 呼び名	2 制裁を受ける行為	3 制裁の仕方
	七	七	九七	九七	九七
第四節 村寄り合い	1 寄り合いの日	2 呼び名	4 許してもらう方法	1 破産の時の援助	2 火災の場合の援助
	一	一	一	一	一
第五節 破産援助	1 ムラ入りの慣行	2 呼び名	3 その他の援助	3 その他の援助	4 援助者と待遇
	一	一	一	一	一
第六章 ムラの仕事	1 ムラの仕事	2 呼び名	3 その他の援助	1 破産の時の援助	2 火災の場合の援助
	一	一	一	一	一
第七章 制裁と援助	1 呼び名	2 制裁を受ける行為	3 制裁の仕方	4 許してもらう方法	1 破産の時の援助
	一	一	一	一	一
第八章 年齢集団	1 呼び名	2 呼び名	3 その他の援助	4 援助者と待遇	1 破産の時の援助
	一	一	一	一	一

第一編 人 の 一 生	
第一章 婚姻	一四
第二章 恋愛	一七
第三章 家長の座	二三
第四章 相続	二三
第五章 子供組	二六
第六章 婦人組	二九
第七章 壮年組	三〇
第八章 老人組	三三
第九章 その他	三四
第一節 子供組	一四
1 子供組の呼び名	一四
2 加入者と年齢	一九
3 子供組の行事	二〇
第二節 若者組	二一
1 若者組の呼び名	二二
2 加入者と構成年齢	二六
3 加入時期の儀礼	二九
4 活動内容	三〇
5 娘組	三七
第三節 その他の集団	三九
第一節 婦人組	一四
第二節 壮年組	一五
第三節 隠居	一七
1 隠居する場所と呼び名	一七
2 隠居する時期と持参する物	一九
第二編 人 の 一 生	
第一章 婚姻	一四
第二章 恋愛	一七
第三章 家長の座	二三
第四章 相続	二三
第五章 子供組	二六
第六章 婦人組	二九
第七章 壮年組	三〇
第八章 老人組	三三
第九章 その他	三四
第一節 子供組	一四
1 子供組の呼び名	一四
2 加入者と年齢	一九
3 子供組の行事	二〇
第二節 若者組	二一
1 若者組の呼び名	二二
2 加入者と構成年齢	二六
3 加入時期の儀礼	二九
4 活動内容	三〇
5 娘組	三七
第三節 その他の集団	三九
第一節 婦人組	一四
第二節 壮年組	一五
第三節 隠居	一七
1 隠居する場所と呼び名	一七
2 隠居する時期と持参する物	一九

第三節 初婿入り	1 クチキキの贈与	1 時期
2 酒入れ	2 方法	2 方法
3 ユイノー	3 妊娠を知らせることば	3 妊娠を知らせることば
4 返礼	4	4
第二章 妊娠・出産	一五	一五
第一節 妊娠の知らせ	一四	一四
第六節 後産とへその緒	一三	一三
第五節 入家儀礼	一三	一三
1 門火	一三	一三
2 嫁のしりたたき	一三	一三
3 履物の処理	一三	一三
4 勝手回り	一三	一三
5 迎え水ほか	一三	一三
第五節 産飯とシチャヤ	一三	一三
1 産飯	一三	一三
2 シチャヤ	一三	一三
第四節 荷送り	一三	一三
1 荷送りの人の名称	一三	一三
2 荷の受け渡し	一三	一三
第四節 安産のまじない	一三	一三
1 出産前のまじない	一三	一三
2 出産時のまじない	一三	一三
第四節 ウブユ	一三	一三
1 たらいの数	一三	一三
2 日数	一三	一三
3 浴びせる人	一三	一三
4 その他	一三	一三
第三節 初産	一三	一三
1 夫のつわり	一三	一三
2 出産と夫	一三	一三
第三節 安産のまじない	一三	一三
1 夫のつわり	一三	一三
2 出産と夫	一三	一三
第二節 妊娠・出産と夫	一三	一三
第三節 初婿入り	一三	一三
1 クチキキの贈与	一三	一三
2 方法	一三	一三
3 妊娠を知らせることば	一三	一三
4	一三	一三

1	後産の始末	一九	第四節 クイゾメ	三三	
2	へその緒の始末	二〇三	1 期日	三三	
第七節 産婦のトコアゲと月小屋		二〇五	2 作法	三三	
1	産婦のトコアゲ	二〇五			
2	産屋明けなど	二〇七			
3	月小屋	二〇七			
第三章 育児		三一	第四章 年齢に伴う儀礼		三七
第一節 子供の初めての外出		三一	1 七五三の祝い	三七	
1 他家の訪問		三一	2 成人の祝い	三七	
2 時期		三四			
第二節 子守と仮親		三五	第二節 厄年		三四
1 子守として頼む人		三六	1 厄年の年齢	三四	
2 子守との付き合い		三八	2 危除け	三四	
3 仮親との付き合い		三九			
第三節 ミヤマイリ		三〇	第三節 年祝い		三七
第一節 臨終の儀礼		三一	1 年祝いの呼び名	三七	
1 期日		三一	2 祝い方	三七	
2 供物		三一			
3 作法		三一			
第五章 死・喪		三九			
第一節 魂呼び		三九			

2 シニミズ	第二節 死者への供物	一三
1 マクラメシ		一一
2 マクラダンゴ		一一
3 シカ		一一
4 その他		一一
	第三節 死亡の通知	二三
1 告げ人		二三
2 通知の方法		二三
	第四節 納棺	二四
1 服装		二四
2 死者の身支度		二五
3 棺に納めるもの		二五
4 その他		二五
	第五節 ノベオクリとイハイワケ	二六
1 ノベオクリから帰つての清め		二六
	第六章 葬制	二七
	第一節 特別葬法	二八
1 幼児の葬法		二八
2 妊産婦の葬法		二九
3 戸外の変死者の葬法		二九
4 他の葬法		三〇
	第三節 弔い回りと年忌	三一
1 弔い回り		三一
2 年忌		三二
	第四節 仏葬以外の葬礼	三三
1 神道系		三三
2 その他		三三

第三編 住居

第一章 屋敷

第一節 屋敷構え

1 屋敷の名称	二九
2 屋敷の面積	三〇
3 屋敷の形	三一
4 好む場所と嫌う場所	三二
5 旧家の位置	三三

第二節 屋敷内の名称

1 屋敷の入口の名称	三六
2 屋敷への入口の数	三七
3 母屋前の空地	三九
4 屋敷内にある野菜畠	三〇
5 屋敷内にある森や林	三一
6 屋敷内にある墓地	三四

第三節 水

1 昔の飲料水	三七
---------	----

現在の飲料水

第二章 母屋と小屋

第一節 屋敷内の建物

1 普通の家の付属の建物	三三
2 上層の家の付属の建物	三六

第二節 母屋

1 母屋の呼び方	三七
2 家造りの名称	三八
3 屋根を葺く材料	三九

4 屋根葺き職人の出身地	四一
5 屋根葺き職人	四二

6 母屋の面積	四三
---------	----

第三節 母屋への入口と土間

1 入口の呼び方	四五
2 入口の建具	四五
3 土間	四五

第四節 とりつぎの部屋

5 消雪のための池

- 1 とりつぎ部屋の入口 三〇
2 名称のある柱 三一

第五節 風呂

三二

- 1 風呂の名称 三三
2 風呂場の場所 三四

第六節 便所

三五

- 1 外便所 三六
2 内便所 三七

第七節 馬屋

三八

- 1 名称 三九
2 馬屋と馬の飼育 四〇

- 3 馬屋の神 四一

第八節 雪と住居

四二

- 1 雪囲い 四三
2 入口の雪囲い 四四

- 3 冬の防風・防寒・明かりとり 四五
4 雪おろし 四六

第三章 間取り

三七

第一節 間取りの種類

三八

第二節 座敷と居間

三九

- 1 座敷 四〇
2 居間の名称 四一

第三節 勝手

四二

- 1 昔食事をとっていた部屋の名称 四三
2 今食事をとっている部屋の名称 四四

第四節 調理場

四五

- 1 調理場の名称 四六
2 特別の日の調理場所 四七

第五節 寝室

四八

第六節 寝室

四九

- 1 主人夫婦の寝室名称 四一
2 若夫婦の寝室名称 四二

- 3 年寄り夫婦、子供の寝室名称 四三
4 雪おろし 四四

第六節 仏間と神棚の間	四六
1 仏壇のある部屋	四六
2 神棚のある部屋	四〇
第七節 生と死	四三
1 出産の部屋	四三
2 死者を安置する場所	四三
第四章 いろいろとかまど	四六
第一節 いろいろ	四元
1 名称	四元
2 いろいろの数	四〇
3 部分名称	三九
4 自在かぎ	三八
5 火棚	三七
6 いろいろの座	三一
7 いろいろ端での接待	三一
第二節 かまど	三一
1 名称	三一
2 置き場所	三一
第三節 地つき	三一
第五章 家具・調度	四七
第一節 発火具・火具	四六
1 発火具	四六
2 火具	四五
第二節 照明具・暖房具・寝具	四七
1 照明具	四七
2 暖房具	四七
3 寝具	四七
第六章 建築儀礼	四七
第一節 普請	四七
1 新築	四七
2 その他	四七
第二節 建物の位置選定と地鎮祭	四七
1 位置の選定	四七
2 地鎮祭	四七

1 地つきの名称と方法	第五節 家移り	四六
2 地つき歌		四七
第四節 建前と棟上げ		四八
1 建前		四九
2 棟上げ式		五〇
第三章 野良着	第一節 男の野良着	五九
1 上体		五〇
2 下体		五一
第二章 女の野良着	第一節 呼び名	五三
1 野良着		五四
2 前掛	2 使用	五六
3 田植えの身支度	第二節 女のテッコー	五七
第二章 テッコー	1 呼び名	五九
1 かぶりもの	2 使用	六〇
第二章 かぶりもの	第三節 男のかぶりもの	六一
1 かさ		六二
第六節 建築祝い	1 餅まき	六三
2 建築祝いの粥	2 建築祝い	六四
第四編 衣 生 活	第一節 男のテッコー	五九
第一節 男の野良着	1 呼び名	五五
2 使用	2 使用	五六
第二節 女のテッコー	第一節 男のテッコー	五九
1 呼び名		五九
2 使用		六〇
第三章 かぶりもの	第一節 男のかぶりもの	六一
1 かさ		六二
第六節 建築祝い	1 餅まき	六三
2 建築祝い	2 建築祝い	六四
第五節 家移り	1 名称と内容	六五
	2 招待者と祝儀	六六
第四節 建前と棟上げ		六七
1 建前		六八
2 棟上げ式		六九
第三章 野良着	第一節 男の野良着	七〇
1 上体		七一
2 下体		七二
第二章 女の野良着	第一節 呼び名	七三
1 野良着		七四
2 前掛	2 使用	七五
3 田植えの身支度	第二節 女のテッコー	七六
第二章 テッコー	1 呼び名	七七
1 かぶりもの	2 使用	七八
第二章 かぶりもの	第三節 男のかぶりもの	七九
1 かさ		八〇

ワラグツ	1	山野の植物による紡織	二
カンジキ	2	ヨリコ	三
ハバキ	3	つむぎ	4
		ジバタ	5
第三節 防寒具	五三		
1 頭にかぶるもの	五三		
2 着るもの	五三		
第七章 紡織・染色・保存	五六		
第一節 紡織	五六		
1 麻布	五六		
第五編 食 生 活	五六		
第一章 食料	五六		
第一節 主食料	五六		
1 米	五六		
2 米以外の食料	五六		
第二節 救荒食料	五六		
第三節 野生の植物	五六		
1 救荒食料	五六		
2 備荒食料	五六		
第四節 魚介類の利用	五六		
1 昔利用した植物	五六		
2 今利用している植物	五六		

1 海産の魚介類	六〇
2 淡水産の魚介類	六六
第五節 肉類及び特色ある食べ物	六八
1 肉類	六八
2 特色ある食べ物	六九
第二章 貯蔵	七三
第一節 穀類の貯蔵	七三
1 米の貯蔵	七三
2 麦の貯蔵	七四
3 そばの貯蔵	七五
4 大豆の貯蔵	七六
第二節 越冬野菜の保存	七七
1 大根の保存	七七
2 その他の野菜の保存	七八
第三節 保存の方法	七八
1 日干しによる保存	七八
2 塩漬けによる保存	八〇
第四節 調味料	八〇
1 塩	八〇

第三章 調製

第一節 炊事	八五
1 雜穀の炊事	八五
2 野菜類を入れる	八六
3 雑炊	八九
4 粥	九一
第二節 味噌・スマシ・タマリ・甘酒	九一
1 味噌の原料の割合	九一
2 つくる味噌の量	九二
3 味噌玉	九三
4 味噌つくりの用具	九四
5 スマシとタマリ	九五
6 甘酒	九六

第三節 豆腐としみ食品	九六
1 豆腐	九六
2 しみ食品	九七

第四節 改まつた折の食品		
2 甘味料	3 香辛料	2 1 餅
4 食用油		5 だし 2 団子
		6 玄米 3 こわ飯
		7 玄米 4 滋養食
		8 玄米 5 年取り魚
		9 玄米 6 雑煮
		10 玄米
第五章 食制		
第一節 夏期の食事の回数		
1 一日三回食事をする	2 一日四回食事をする	3 一日五回食事をする
4 一日六回食事をする	5 一日七回食事をする	
第二節 冬期の食事の回数		
1 一日三回食事をする	2 一日四回食事をする	3 一日五回食事をする
4 一日六回食事をする	5 一日七回食事をする	
1 改まつた日の煮物	2 日常の煮物	3 山仕事
4 玄米	5 玄米	6 玄米
第三節 煮物		
1 改まつた日の煮物	2 日常の煮物	
3 玄米	4 玄米	
第四章 食品		
1 煮るもの	2 ゆでるもの	3 焼くもの
4 蒸すもの	5 い(炒)るもの	6 玄米
7 玄米	8 玄米	9 玄米
第二節 間食		
1 田植え	2 刈り入れ	3 山仕事
4 玄米	5 玄米	6 玄米
第一節 粉食		
1 煮るもの	2 ゆでるもの	3 焼くもの
4 蒸すもの	5 い(炒)るもの	6 玄米
7 玄米	8 玄米	9 玄米

第三節 食事をする場所	一
1 食事をする部屋	二
2 座席	三
第四節 食事の作法	一
1 食品の分配	二
2 大食・偏食	三
3 食前・食後の作法	四
第五節 改まつた時の食事	一
1 祝儀の時の献立	二
2 不祝儀の時の献立	三
3 酒盛り	四
第六節 供物と俗信	一
1 神への供物	二
2 仏への供物	三
3 食い合わせ	四